

**製品名: CD109 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08190**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

**抗原情報**

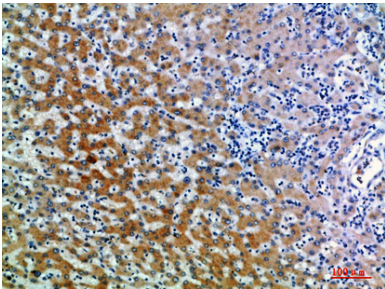
遺伝子名	CD109 CPAMD7
別名	CD109 antigen (150 kDa TGF-beta-1-binding protein;C3 and PZP-like alpha-2-macroglobulin domain-containing protein 7;Platelet-specific Gov antigen;p180;r150;CD antigen CD109)
遺伝子 ID	135228.0
SwissProt ID	Q6YHK3
免疫原	アミノ酸配列範囲 751-800 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

この遺伝子は、血小板、活性化T細胞、および内皮細胞の表面に局在するグリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）結合型糖タンパク質をコードしています。このタンパク質は、トランスフォーミング成長因子 $\beta$ （TGF- $\beta$ ）に結合し、TGF- $\beta$ によるシグナル伝達を負に制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq提供、2014年4月],機能: ケラチノサイトにおけるTGF $\beta$ 1シグナル伝達を負に制御する。、多型: 703番タンパク質のGov(b)変異体は、Govアロ抗原決定基を定義する。、PTM: 180 kDa型からのタンパク質分解により、150 kDa (p150)と120 kDa (p120)の2つの型が存在する。、PTM: N-グリコシル化されている。、類似性: プロテアーゼ阻害剤I39 ( $\alpha$ 2マクログロブリン)ファミリーに属する。、サブユニット: ヘテロ二量体、ジスルフィド結合。TGF $\beta$ 1およびTGF $\beta$ R1と相互作用する。TGF $\beta$ R1、TGF $\beta$ R2、およびTGF $\beta$ R3とリガンド非依存的にヘテロ多量体複合体を形成する。、組織特異性: 子宮、大動脈、心臓、肺、気管、胎盤、および胎児の心臓、腎臓、肝臓、脾臓、肺に広く高レベルで発現している。CD34陽性急性骨髄性白血病細胞株、T細胞株、活性化Tリンパ芽球、内皮細胞、および活性化血小板に発現する。アイソフォーム5は胎盤に発現する。アイソフォーム1はケラチノサイトおよび胎盤に発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された